

# DJ Magazine 8月号(2018)

ドキュメンタリージャパン

vol.30 2018.8.1

映像制作会社ドキュメンタリー  
ジャパンが今お届けするテレビ  
番組や映画のお知らせです。

Topics

日経スペシャル「ガイアの夜明け」

“個性旅行”が地方を救う!? ～「空飛ぶ電車」と「赤い電車」の新戦略～

放送予定：テレビ東京 8月7日(火) 午後10:00～10:54



つばやまき

「移住と結婚は似ている」  
東京を捨て、消滅可能性都市に移住した人の言葉が印象に残っている。すべてが自分にとって完璧ではなく、どこか物足りなかったり、不都合だったり。でも、それを上回る魅力がある土地だったから移住したのだそう。今回のガイアの取材を通して、あらためて自分の故郷や、今住んでいる東京について考えさせられた。

アシスタント・ディレクター 西村緑美

いま、日本の地方都市は瀕死の状況にある。人口減少の加速化により、2040年には日本の自治体の半数が消滅の危機にさらされているのだ。そんな中、地方再生に乗り出す意外な企業がある。航空会社や鉄道会社が、路線先の地方都市で眠れる観光コンテンツを発掘し、大々的なPRやキャンペーンを展開、客足を伸ばそうとしているのだ。キーワードは“個性旅行”。番組は、その取り組みを追った。



Topics

世界ふれあい街歩き

パリ サンマルタン運河界わい

放送予定：NHK-BSプレミアム 8月7日(火) 午後8:00～8:59

再放送：8月14日(火) 午前8:00～8:59



今回の街歩きは、パリの下町と言われるサンマルタン運河界わいへ！ナポレオンの命によって建設された運河の周りは散歩に日光浴にと常に多くのパリ市民でにぎわっています。風情あふれる運河沿いを歩きながら、常連が絶えない活気あふれる商店街や職人技が光る金具工房、地元で愛される壁画アーティストなど人懐っこくて温かい人々と出会います。

つばやまき

40年以上も前、高校球児でした。地方大会の3回戦で負けた18歳の私は、この先自分がどこに行くのか分からず、じっと夏の暑さを耐えていたように思います。「甲子園に凡戦なし」が持論なのは、今も消えない甲子園への憧れなのかもしれません。昨年夏、外野席から開会式を見て、思わず涙が出ました。平和っていいなと心底思ったからです。今年も8月15日には、甲子園にサイレンが響き、選手も観客も黙祷を捧げます。忘れないために。

ディレクター 奥村 浩

Topics

英雄たちの選択

伝説の投手 沢村栄治

～戦火に散った剛速球～(仮)

放送予定：NHK-BSプレミアム 8月9日(木) 午後8:00～9:00

再放送：8月16日(木) 午前8:00～9:00



ペナントレースだけなわのプロ野球。その始まりには、17歳の青年の選択があった。彼こそ、甲子園のヒーローにして後に職業野球草創期のスターとなる沢村栄治。沢村の活躍で国民的娯楽となったプロ野球だったが、沢村自身は戦争の渦に巻き込まれていく。スタジアムには「沢村賞」投手、桑田真澄さんも登場。庶民が生んだ英雄の選択をお送りします。



ザ・チーム～勝利への方程式～

“全員がエース” 常識破りのチーム作りで世界を目指せ  
秀明大学 女子水球部 (仮)

放送予定: BS11 8月10日(金) 午後10:00~10:30



今回は千葉県の秀明大学 女子水球部に密着。創部 1年目の2015年、1年生たった8人で大学日本一に輝いた強豪チームだ。チームの強さを支えるのは「全員がエース」を掲げる加藤英雄監督の指導法。地獄の体力トレーニング、監督からの激しい檄、ハイレベルな先輩達。加入したばかりの新入生はその環境の中で戸惑っていた…。果たして彼女は“新たなエース”になれるのか？



## News 第34回 ATP賞テレビグランプリで3つの賞をいただきました!!

### 情報バラエティ部門 最優秀賞

2017年12月13日放送  
NHK BSプレミアム

ETV特集「いきものがかり水野良樹の阿久悠をめぐる対話」

C:松村敏行 他

D:山口恒治 P:本木敦子



ディレクター 山口恒治

山口恒治です。ディレクター34年目に初めて最優秀賞をいただきました。驚きです。「この私が?」という気分です。でもそれは勘違いです。この番組が認めていただいたのはスタッフ全員が頑張ったからだと思っています。謙虚にそう思います。だからこそディレクターの私が好き勝手に旗をふりつづけることができたのだと思っています。そして何より主人公である水野良樹氏は、番組を左右する非常に大きな存在でした。とはいえ、いただいた賞を糧に、老骨に鞭打ち、若い衆に嫌がられようと、永遠に頑張っていきたい所存であります。



### 情報バラエティ部門 優秀賞

2017年5月17日放送  
NHK BSプレミアム

「4人のモナリザ 『謎の微笑』モデルの真実」

C:角山正樹

D:木村竜太 P:河口歳彦



モナリザ・チーム

番組の主人公バスカル・コット氏との出会いは2010年『ダ・ヴィンチの指紋』という番組を制作した時に遡ります。彼が「今度モナリザの研究書を出版する。ぜひ貴方に番組化して欲しい」と声をかけてくれたのが出発点でした。こうして番組が完成し、彼の信頼に応えられたこと自体、僕にはとても嬉しいことでした。まして賞まで…望外の喜びです!

ディレクター木村竜太

### ドキュメンタリー部門 奨励賞

2018年2月18日放送  
テレビ朝日

テレメンタリー2018「東京クルド TOKYO KURDS」

C:松村敏行 他

D:日向史有 P:牧哲雄/本木敦子

### 第24回(最終回) ディレクター 酒井克

### 【連載】リレーコラム『ドキュメンタリーは〇〇である』

～ドキュメンタリージャパンのスタッフが紡ぐ『ドキュメンタリー』と『ワタシ』の関係～



### ドキュメンタリーは“体力”である。

昔から頭が弱い。AD時代、考えずによく飛び出していくから鉄砲玉と呼ばれた。バツ並みの脳ミソしかないから、体力だけが取り柄と信じて、無意味に身体を動かすロケ先を選んできた。つい最近の山岳ロケで、クソ元気な年長スタッフに改めて驚嘆した。この人達がいてこそドキュメンタリーが撮れるのだと。最後の最後に必要なのはやっぱり体力なのだ。

24回にわたりバトンをつないできたこのコラムは今回で終了します。再来月からは新たな連載がはじまる予定です。お楽しみに!!

### 制作中の番組



その他、多岐に渡る作品を制作中です! 詳細はドキュメンタリージャパンのHPまで。

### 編集後記

4歳の息子がNHKの動物番組「ダーウィンが来た!」に夢中です。毎週録画し、気に入った回は何度も繰り返し見えています。メジャーな動物はもちろん「ディンゴ」や「ホンソメワケベラ」などマニアックな回も多く、息子の動物に関する知識はどんどん増え、母はついていけません。思えば2歳でプロ野球中継を観て大谷翔平選手にはまり…3歳では大相撲中継で横綱・稀勢の里のファンになり…幼い息子と世界をテレビはつないでくれます。(S.N)

Design by HARIMA koutarou